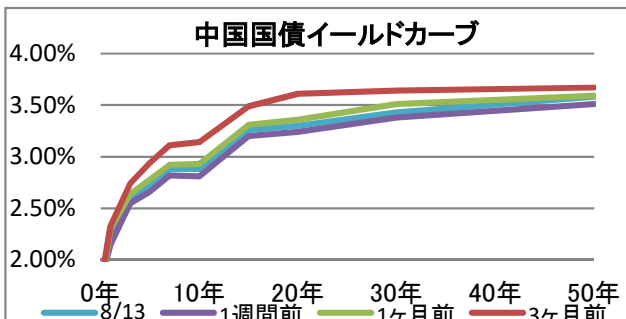
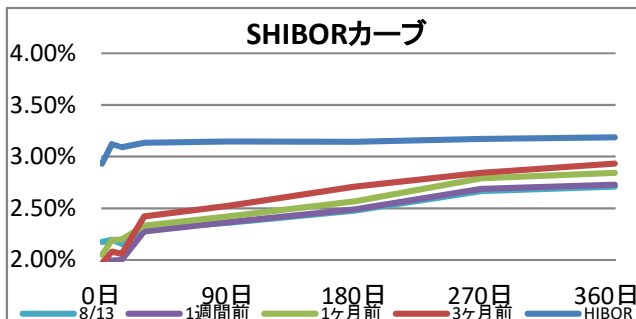


①市場概況

基準レート		2021/8/13	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4799	0.0174
	JPY/CNY	5.8704	-0.0167
SHIBOR	3M	2.3590%	-0.0090%
国債利回り	10年	2.88%	+0.07%
上海総合指数		3,516.30	+58.07



(1) 概況

米国の政治経済状況や世界的な新型コロナウイルス感染再拡大から方向感の乏しい展開ながら、金融緩和状態の長期化期待を背景に株式市場は堅調に推移する一方、債券利回りは米国でのインフラ投資法の上院可決やPPIの予想を上回る上昇による上昇から消費者心理の急激な悪化を受けて急低下しており、外為市場はドル安に転じている。

中国金融市場では、週初に中国人民銀行が公表した貨幣政策執行報告（第2四半期）における中国政府の財政拡大と安定した金融政策を複数年単位で実施する方針が確認されると、債券市場では新型コロナウイルス再拡大への懸念はあるものの需給悪化懸念から利回りは上昇に転じ、株式市場は感染再拡大や軟調な銀行融資データもあって上値の重い展開となった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ500億元を実施。

(3) 主な経済指標

・CPI（7月）は前年比+1.0%（6月+1.1%）と、食品価格の下落を主因にやや低下。豚肉価格の大幅下落等により食品価格が前年比-3.7%となる一方、非食品価格はガソリン価格等の上昇から同+2.1%上昇している。

・PPI（7月）は前年比+9.0%（6月+8.8%）と、燃料価格等の上昇を主因に小幅ながら上昇に転じている。原油価格を含む原材料価格の上昇に加え、仕入価格の上昇が出荷価格の上昇を上回る状況が一段と悪化しており、企業業績への影響が懸念される状況が続いている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1760%	1.8000%	1.8000%	
1W	2.1970%	2.1000%	2.2000%	2.0000%
2W	2.1550%	2.1500%	2.3000%	2.0000%
1M	2.3000%	4.3000%	3.0000%	2.0000%
3M	2.3590%	3.4300%	4.5000%	2.3000%
6M	2.4790%	3.4000%		2.5100%
9M	2.6660%		2.8000%	2.6000%
12M	2.7100%	4.1000%		2.6825%

中国人民銀行の市場調節は市場予想通り中立となり、中国人民銀行の貨幣政策執行報告を受けて一段の金融緩和への期待はやや後退したもの、新型コロナウイルス感染再拡大や17日のMLF期日7000億元への対応に注目が集まっており、ターム物のは1ヶ月のやや高めの水準での出合いを除き限定的。

NCDは、資金需給には余裕があるものの金融緩和期待の後退を映じて、金利水準は小幅ながら上昇に転じており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.00%、3ヶ月物が2.30%、6ヶ月が2.50%、1年が2.68%での出合いが中心となっている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.09%	0.10%
3M	0.18%	0.20%
6M	0.28%	0.30%
12M	0.40%	0.45%

資金需給に大きな変化はなく、ターム物は、1ヶ月では0.10%、3ヶ月は0.20%、6ヶ月が0.30%前後で出合っている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.91%	2.11%	2.34%	2.39%	2.74%
6M	2.00%	2.16%	2.47%	2.54%	2.90%
1Y	2.22%	2.36%	2.66%	2.67%	3.02%
3Y	2.59%	2.78%	2.92%	3.06%	3.75%
5Y	2.72%	2.95%	3.26%	3.35%	4.24%
10Y	2.88%	3.18%	3.59%	3.69%	4.58%

債券市場では、国内での新型ウィルス感染再拡大への懸念はあるものの、中国人民銀行の貨幣政策執行報告を受けた需給悪化や米中金利差縮小への懸念から上昇に転じている。

イールドカーブは、短期の信用債が堅調となったものの中長期の利回りが上昇したことから、利率債では全体的に上昇する一方、信用債では一段とスティープ化している。また、クレジットスプレッドは、短期では信用債利回りの低下により更に縮小し、中長期でも利率債利回りの上昇によりやや縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	29.1 / 29.5
1M	137.0 / 138.1
3M	427.0 / 429.0
6M	859.0 / 861.0
9M	1227.0 / 1234.0
12M	1602.0 / 1604.0

対ドル基準レートは、6.4799と前週末比+174pipsのドル高元安、対円基準レートは5.8704と同-167pipsの円安元高と、様子見が続く市場を映じて6.48前後での設定が続いた。国内市場でも米中金利差縮小見通しの強さからドル高期待は根強いものの、様子見姿勢が強く値動きは引き続き限定的となり6.48台での取引が続いた。

先物は、直物市場の値動き、米ドル、人民元の金利の変動も限定的で、1年物は1600を挟んで小幅な値動きに終始している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.27%		2.09%
6M	2.31%	2.50%	2.11%
9M	2.32%	2.54%	2.11%
1Y	2.34%	2.60%	2.11%
3Y	2.52%	2.88%	2.33%
5Y	2.71%	3.13%	
7Y	2.85%	3.28%	
10Y	2.99%	3.45%	

スワップ金利は、短期の基準金利と債券利回りがともに上昇に転じたことから、ほぼ全期間で5bp前後上昇して若干スティープ化している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは若干縮小している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入